



平成29年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年6月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アイリッジ
 コード番号 3917 URL http://iridge.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小田 健太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0兼管理グループ長 (氏名) 英 一樹 TEL 03-6441-2325
 四半期報告書提出予定日 平成29年6月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年7月期第3四半期の業績（平成28年8月1日～平成29年4月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年7月期第3四半期	1,105	27.1	160	102.4	161	103.5	114	121.9
28年7月期第3四半期	869	63.6	79	△10.8	79	△11.2	51	△11.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年7月期第3四半期	20.87	19.32
28年7月期第3四半期	9.44	8.69

(注) 当社は、平成29年5月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年7月期第3四半期	1,215	1,012	83.3	183.01
28年7月期	1,093	890	81.4	161.73

(参考) 自己資本 29年7月期第3四半期 1,012百万円 28年7月期 890百万円

(注) 当社は、平成29年5月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年7月期	—	0.00	—	—	—
29年7月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年7月期の業績予想（平成28年8月1日～平成29年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600	30.1	200	46.1	200	45.5	138	49.7	25.02

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、平成29年5月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、業績予想の「1株当たり当期純利益」を算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年7月期3Q	5,532,400株	28年7月期	5,505,600株
② 期末自己株式数	29年7月期3Q	－株	28年7月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年7月期3Q	5,509,610株	28年7月期3Q	5,489,399株

（注）当社は、平成29年5月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「発行済株式数（普通株式）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調が続いておりますが、アメリカの政策運営に関する不確実性の影響、中東や東アジアにおける地政学リスクの高まり等、先行きは不透明な状況です。

当社はスマートフォン等をプラットフォームとしたO2O支援(注1)を企業向けに行っておりますが、企業のO2Oへの取り組みは引き続き強化されています。

インフラ環境といたしましても、平成27年末時点でスマートフォンを保有する個人の割合は53.1%を占め(前年比8.4ポイント増)、また、スマートフォンによるインターネットへのアクセスは13~49歳の各年齢階層でパソコンによるアクセスを上回っており(注2)、当社のスマートフォンを活用したO2O関連事業の後押しになっていきます。このような環境の中、当社のpopinfoを搭載したスマートフォンアプリの利用ユーザー数(注3)は、平成29年4月に6,000万ユーザーを超え、順調に推移しております。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は、ユーザー数の増加、大型のアプリ開発案件及び継続したアプリマーケティングが増収に寄与し、1,105,817千円(前年同期比27.1%増)となりました。利益につきましては、増収効果及び内製化を進めたことによる原価率改善により、営業利益は160,334千円(同102.4%増)、経常利益は161,064千円(同103.5%増)、四半期純利益は114,992千円(同121.9%増)となりました。

(注1) O2O(オンラインtoオフライン)とは、消費者にインターネット(オンライン)上のwebサイトやアプリを通じて情報を提供し、実店舗(オフライン)への集客や販売促進に繋げることをいいます。

(注2) 出典：総務省「平成27年通信利用動向調査」

(注3) 利用ユーザー数とは、ユーザー数のカウント時点において、プッシュ通知の配信に同意しているユーザー数を指し、アプリごとにカウントしています。

当社は、O2O関連事業の単一セグメントであり、セグメントごとの記載をしておりません。

そのため、以下では販売実績をサービス別に示しております。当社ではサービス別に、「O2O関連」を(月額報酬)と(アプリ開発、コンサル等)に区分しております。

サービスの名称	前第3四半期累計期間 (自 平成27年8月1日 至 平成28年4月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成29年4月30日)			前事業年度 (自 平成27年8月1日 至 平成28年7月31日)	
	販売高 (千円)	構成比 (%)	販売高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 増減 (%)	販売高 (千円)	構成比 (%)
O2O関連	869,719	100.0	1,105,817	100.0	27.1	1,230,142	100.0
月額報酬	206,610	23.8	351,110	31.8	69.9	295,913	24.1
アプリ開発、コンサル等	663,109	76.2	754,707	68.2	13.8	934,229	75.9

月額報酬は、

- a. popinfoのサービス利用料(利用ユーザー数に応じた従量制)
- b. アプリのシステム保守料等

から構成されております。

アプリ開発、コンサル等は主に、

- a. アプリの企画・開発に伴う収入
- b. アプリマーケティングに伴う収入

から構成されております。

当第3四半期累計期間の販売高は1,105,817千円(前年同期比27.1%増)、内訳として、月額報酬は351,110千円(同69.9%増)、アプリ開発、コンサル等は754,707千円(同13.8%増)となり、いずれも順調に成長しております。

月額報酬については、popinfoを搭載した新規アプリのリリースや、継続取引先のユーザー数の拡大により、ストック型の安定収益の積み上げに努めた結果、大幅な増収となりました。

また、アプリ開発、コンサル等については、前述のとおり、大型案件及び継続したアプリマーケティングが増収に寄与いたしました。

当社の開発・提供するアプリは、企業とユーザーを繋ぐ企業の顔(企業の基幹メディア)に位置付けられます。そのため、アプリの初期開発・リリース後もアプリ内企画や機能追加等を継続的に実施し、企業・ユーザー間のコミュニケーションの活性化を図ることが重要となります。

当社では、月額報酬を着実に積み上げるとともに、popinfoを組み込んだアプリ開発を入口に、効果的なO2Oを実現するための提案・開発を継続的に実施し、安定した収益の確保に繋げております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は1,215,708千円となり、前事業年度末に比べ122,471千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加200,333千円、売掛金の減少84,630千円によるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は203,245千円となり、前事業年度末に比べ402千円増加いたしました。これは主に、買掛金の増加11,807千円、未払法人税等の減少5,475千円、賞与引当金の減少3,782千円によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は1,012,463千円となり、前事業年度末に比べ122,068千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加114,992千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年9月9日に公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	656,627	856,961
売掛金	227,419	142,788
仕掛品	36,414	32,672
その他	26,430	26,453
流動資産合計	946,892	1,058,876
固定資産		
有形固定資産	8,914	4,454
無形固定資産		
ソフトウェア	89,618	74,795
ソフトウェア仮勘定	1,121	26,613
その他	189	173
無形固定資産合計	90,928	101,583
投資その他の資産	46,502	50,794
固定資産合計	146,345	156,832
資産合計	1,093,237	1,215,708
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,531	56,339
未払法人税等	33,948	28,472
賞与引当金	42,790	39,008
その他	68,572	66,425
流動負債合計	189,843	190,245
固定負債		
資産除去債務	12,999	12,999
固定負債合計	12,999	12,999
負債合計	202,842	203,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	358,334	361,872
資本剰余金	351,334	354,872
利益剰余金	180,727	295,719
株主資本合計	890,395	1,012,463
純資産合計	890,395	1,012,463
負債純資産合計	1,093,237	1,215,708

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年4月30日)
売上高	869,719	1,105,817
売上原価	550,624	683,723
売上総利益	319,095	422,094
販売費及び一般管理費	239,876	261,759
営業利益	79,218	160,334
営業外収益		
受取利息	106	7
雑収入	235	723
営業外収益合計	341	730
営業外費用		
雑損失	429	—
営業外費用合計	429	—
経常利益	79,130	161,064
税引前四半期純利益	79,130	161,064
法人税、住民税及び事業税	26,681	48,514
法人税等調整額	622	△2,441
法人税等合計	27,303	46,072
四半期純利益	51,826	114,992

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の事業セグメントは、O2O関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

株式分割

当社は、平成29年4月5日開催の取締役会の決議に基づき、平成29年5月1日付で株式分割を行っております。

1. 株式分割の目的

株式分割により当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げること、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成29年4月30日(当日は休日につき、実質的には平成29年4月28日)を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割しております。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	2,766,200株
今回の分割により増加する株式数	2,766,200株
株式分割後の発行済株式総数	5,532,400株
株式分割後の発行可能株式総数	19,000,000株

(3) 分割の日程

基準日公告日	平成29年4月13日(木曜日)
基準日	平成29年4月30日(日曜日)
効力発生日	平成29年5月1日(月曜日)

3. 定款の一部変更

上記の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、株式分割の効力発生日である平成29年5月1日をもって、当社定款第5条で定める発行可能株式総数を9,500,000株から19,000,000株に変更しております。

4. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は以下のとおりです。

	前第3四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年4月30日)
1株当たり四半期純利益金額	9円44銭	20円87銭
潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額	8円69銭	19円32銭

5. その他

(1) 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

(2) 新株予約権行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たりの行使価額を、平成29年5月1日より以下のとおり調整しております。

	調整前権利行使価額	調整後権利行使価額
第1回新株予約権	210円	105円
第2回新株予約権	210円	105円
第3回新株予約権	380円	190円
第4回新株予約権	380円	190円
第5回新株予約権	1,000円	500円